

2022年11月6日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第65巻第30号(通算3312号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさま ひと とち  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

しょうてんしゃきねんれいはい こうたんぜん だい しゅうじつれいはい  
**召天者記念礼拝(降誕前 第7主日礼拝)**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そ う もく と う ちよさくけんしやうめつ  
前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね きの ことば しへん へん 2-4 節  
招きの詞 詩編 77編 2-4節

さんびかへんしゅういんかい  
賛美歌 21-209番「めさめよ、こころよ」(1-3節) (©讚美歌編集委員会)

せい い し ぶく いんしよ しょう せつ  
聖 書 ルカによる福音書 20章 27-40節

いの しょうてんしゃ おほ いの  
お 祈り 「召天者を覚えるお祈り」

さんびか ばん ちから み  
賛美歌 21-382番「力に満ちたる」(©JASRAC)

てんごく てんごく みずたに けん ぼくし  
メッセージ 「天国のことは天国で」 水谷 憲 牧師

さんびか ばん ちよさくけんしやうめつ  
賛美歌 21-474番「わが身の望みは」(©著作権消滅)

ユーカリスト せい せい 水谷 憲 牧師  
聖 餐 水谷 憲 牧師

きやうどう いの へいわ  
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんびか ばん ちよさくけんしやうめつ  
賛美歌 524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅう いの  
主の祈り

あいじしゆくふくしき みずたに けん ぼくし  
愛児祝福式 (\*) 水谷 憲 牧師

ささげもの  
献げ物 (\*\*)

ばん かみ めぐ せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゆくふく みずたに けん ぼくし  
祝 福 水谷 憲 牧師

こう そ ばん ちよさくけんしやうめつ  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こ ページ さんしやう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* みんなで出席された子どもたちに神様からの祝福をお祈りします。

\*\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 77 編 2-4 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>2</sup>私の声よ、神に<sup>a</sup>届け。私は叫ぶ。

私の声よ、神に届け。

神は私に耳を傾けてくださる。

<sup>3</sup>苦難の日にわが主を尋ね求め

夜もたゆまず手を差し伸べた。

しかし、私の<sup>たましい</sup>魂は<sup>こぼ</sup>慰めを拒む。

<sup>4</sup>神を思い起こし、<sup>うめ</sup>呻き、<sup>めぐ</sup>思い巡らそう

私の<sup>な</sup>霊が萎え果てる<sup>b</sup>まで。

(脚注 a:「届け」は補足、b:「まで」は補足)

聖書 ルカによる福音書 20 章 27-40 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>27</sup>さて、復活はないと言っているサドカイ派のある者たちが近寄って来て、イエスに質問した。<sup>28</sup>「先生、モーセは私たちのために書いています。『ある人の兄が妻をめとり、子がなくて死んだ場合、その弟は兄嫁と結婚して、兄のために子をもうけねばならない。』<sup>29</sup>ところで、七人の兄弟がいました。長男は妻を迎えましたが、子がなのまま死にました。<sup>30</sup>次男、<sup>31</sup>三男と次々にこの女を妻にしましたが、七人とも同じように子を残さずに死にました。<sup>32</sup>最後にその女も死にました。<sup>33</sup>すると復活の時、彼女は誰の妻になるのでしょうか。七人ともその女を妻にしたのです。」<sup>34</sup>イエスは言われた。「この世の子らはめとったり嫁いだりするが、<sup>35</sup>次の世に入って死者の中から復活するのにふさわしいとされた人々は、めとることも嫁ぐこともない。<sup>36</sup>この人たちは、もはや死ぬことがない。天使に等しい者であり、復活の子として神の子だからである。<sup>37</sup>死者が復活することは、モーセも『柴』の箇所(出エジプト 3:2-15)で、主をアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神と呼んで、明らかにしている。<sup>38</sup>神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。すべての人は、神によって生きるからである。」<sup>39</sup>律法学者の中には、「先生、おっしゃるとおりです」と言う者もいた。<sup>40</sup>彼らは、もはや、あえて質問することはなかった。



## 召天者を覚えるお祈り

全ての命の源である母であり父である創造の神さま、  
私たちは今ここに集い、

すでに御許に召された兄弟姉妹たちのことを心に覚えます。

愛する者を失うことは、大きな試練であり、  
何ものにも代えがたい悲しみです。

この深い寂しさを乗り越えるには、  
命の源である神さまによって支えられ、  
み言葉によって慰められ、  
聖霊によって導かれる他ありません。

あなたは御子をお遣わしになって、  
私たちの悲しみに応えてくださいました。

十字架の出来事を通して、  
私たちの悲しみを背負って下さり、

復活の出来事を通して、  
私たちを、あなたの喜びの内に置いてくださいました。

その恵みを通して、  
私たちの悲しみは、悲しみに終わらず、  
私たちの死は、死に終わらず、  
むしろ永遠の命の喜びに続く、始まりに変えられました。

御子イエス・キリストと共にあって与えられる

この救いに感謝します。

どうか今日もその恵みを、私たちに思い起こさせて下さい。

天にある者も、地にある者も、あなたからの永遠の命を共にいただき、  
あなたに生かされる希望と喜びに、満ちあふれさせてください。

あなたから遣わされて、今もこの世で生きる私たちが、

これら今は亡き方々を覚えることを通して、  
ますます神さまに従う道を歩むことができますように。

全ての者の救い主、御子イエス・キリストと共にあってお祈りします。

アーメン

《先週のメッセージより》2022年10月30日

メッセージ「きみはその幻を見たか」より

岡嶋千宙伝道師

聖書 ハバクク書 1章1-4節、2章1-4節

「信仰によって生きる」(2:4)。後に、パウロがローマとガラテヤの信徒へ宛てた手紙の中で引用し、「信仰義認」という思想を展開させる基盤ともなった言葉。キリスト教の歴史において、最も良く知られている言葉の一つだろう。だけど、新種のウィルスによる感染拡大、なくならない紛争、不安定な経済、止まらない気候変動、などが原因で、社会のいたるところに閉塞感が満ち、誰もがこれからを描くことのできない現代にあって、「信仰によって生きる」と言われても、物足りない気がしてくる。響きが良いだけで、中身の無い空虚な言葉。そもそも、信仰って何？ その信仰によって生きるってどういうこと？ それによって、本当に、この閉塞感が、苦しみが、解消されるの？

神がこの言葉をハバククに伝えたのは、挑発とも言える彼の訴えを2度にわたって受けた後だった。「暴虐」「災い」「労苦」「破壊」「争い」「いさかい」という言葉で、自分が生きる時代を言い表したハバクク。彼が生きたのは、現代と同じく、閉塞感に溢れていた社会だった。苦しみにあえぐ人々。悲惨な時代に生き、多くの人の苦しみを目撃していたハバククは、神に向かって、不満と不平、そして怒りに満ちた思いを投げつける。「一体いつまでこの状況を放っておくのか。今このとき、あなたが何を語り、何をするのか。わたしは納得できるまで、この目でしっかりと見届けてやる」。

神への挑発とも思えるハバククの言葉は、一見すると「信仰」という言葉で示されることとは真逆のもの。でも、実は、それこそが、信仰に生きることでないだろうか。神の言葉を単純に受け入れるのでも、これまでの伝統、神学、教理、あるいは教則を、何の反省もなく受け取るのでもない。むしろ、自分の感覚で、それまでの伝統や宗教規則を、さらに、それらによって伝えられる神の姿ですら、疑い、問い直す。現状に甘んじるのではなく、不格好でも、行儀悪くてもよいから、問いを発し、状況を変えるための一歩を踏み出す。誰かに言われた神を求めるのではなく、自分が出会った神と向き合い、語り合い、ぶつかっていく。それが信仰。そして、その信仰に生きるために備えられたのが教会という場。容易で安直な答え、使い古されて命を与えることのなくなった答えはいらぬ。変化に富み、命に満ち、様々な異なりを良しとするあり方。これからも、教会で、そして、現実の世界で、その信仰に生きる歩みをなしていきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 10月30日

主日礼拝出席 大人4名 中継動画再生数 11回  
献金 大人4,000円 感謝



◎次週 2022年11月13日(日)(愛児祝福月間・障がい者週間)

招きの詞 イザヤ書 12章2節

聖書 イザヤ書 65章17-25節

メッセージ 「オオカミが襲わなくなるときに」岡嶋千宙伝道師

賛美歌 21-211番(©JASRAC)、21-579番(©土屋初枝)、21-516番(©JASRAC)

礼拝はインターネットで中継いたします。

11月は「愛児祝福月間」ですので、礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。  
小さい子どもたちもどうぞ一緒にご参加ください。

◎お知らせ

- ・本日14時から王寺墓地にて、墓前礼拝を行います。その後、日本コイノニア福祉会の特別養護老人ホーム「第二好意の庭」(柏原市)にて、15時からこの一年間に天に召された入居者の方々を記念する「永眠者記念礼拝」が行われます(共に司式は牛田牧師)。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・大阪教区には2つの教区墓地(服部墓地・王寺墓地)があり、それぞれ教区主催の墓前礼拝が行われてきましたが、コロナ禍になってからは行われていません。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染予防のために、教区としては行われないうことになりました。
- ・11月10日(木)9時半~11時半、釜ヶ崎・いこいの家にて本田哲郎神父と「聖書を読む会」があります。テキストは本田哲郎訳「ヨハネの手紙1」でコピーが配布されます。参加費は無料で、希望者がカンパをしています。
- ・11月20日(日)14時から、服部墓地にて 月 日に天に召された さんの納骨式(墓前礼拝)を行います。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
11/13	岡嶋伝道師	(愛児祝福月間)(障がい者週間)
11/20	岡嶋伝道師	(愛児祝福月間) 14時~服部墓地墓前礼拝・納骨式(牛田牧師)
11/27	牛田牧師	(愛児祝福月間)第1アドベント礼拝 誕生者祝福式・おにぎり支援
12/4	牛田牧師	第2アドベント礼拝 ユーカリスト・教会を考える会

